

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

経営理念 3 魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち
 経営目標 2 ムダ・ムリ・ムラをなくし、みんなが元気な市役所に ～行政経営の推進～
 重点的取組 2 効率的、効果的な行政組織をつくる

担当課名	分権施策部 経営政策課		
予算 科目 目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

事業名	公共施設マネジメント事業	事業開始年度	平成 21 年度
	公共施設のマネジメント	根拠法令 条例 個別計画等	公共施設マネジメント基本方針 (H25.6)

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	公共サービスを必要としている市民	公共施設管理システムや公共施設白書等で公共施設の管理運営情報を共有化し、公共サービスや公共施設の基本的な考え方を示した「公共施設マネジメント基本方針」と各公共施設の更新等のあり方（方向性）を示した計画に基づき、人口構造と財政状況の変化に対応した持続可能な公共サービスを提供する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	・各部局 ・市民	公共施設のあり方について、市民アンケート結果や担当部局の施設評価を踏まえ、将来を見据えた公共施設の更新の考え方やあり方を示す計画を策定する。

3 平成26年度 予算(事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	公共施設マネジメントに関するシンポジウムを開催し、公共施設のあり方に対する意識を高める。 また、市民意識調査や各施設所管課による施設評価などを基に、10年を計画期間とした公共施設の更新の考え方やあり方を示す計画を策定する。 ◎ 計画の策定 平成26年度末までに、公共施設の更新の考え方やあり方を示す計画を策定する。 ◎ 公共施設を市民と共に考えるシンポジウム 目的：市民、議会、市職員が課題を共有し、公共施設マネジメントの推進に対する機運の醸成を図る。 日時：平成26年10月18日(土) 場所：はつかいち文化ホールさくらびあ小ホール 対象：市民、職員、他自治体職員等 内容：基調講演、先進自治体の取組み事例発表、パネルディスカッション		
	【歳入】	自治総合センターシンポジウム助成事業助成金 1,100 千円	
【歳出】	シンポジウム関係	その他	
	パネリスト謝礼(4人) 48千円	全国自治体等FM会議旅費 60千円	
	司会、手話・要約筆記謝礼 54千円	研修旅費 71千円	
	パネリスト旅費(4人) 110千円	その他旅費 6千円	
	運営、チラシ等作成委託 888千円	計画策定支援業務委託 400千円	

コスト情報(円)	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	平成 26 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A	2,135,630	5,209,000
国庫支出金				
県支出金				
借入金(市債)				
その他(使用料など)				1,100,000
	市(市税など)	2,135,630	5,209,000	537,000
	人件費(按分) B	0.75 人 6,579,000	1.00 人 8,752,000	1.20 人 10,213,200
	総事業費(A+B)	8,714,630	13,961,000	11,850,200
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	118,000 人	117,680 人
	② 市民1人当たり	74	118	101

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H26目標値	H27目標値	備考
	活動	公共施設管理システム	—	構築	—	—	—
公共施設マネジメント方針		—	策定	—	—	—	
成果	公共施設の用途変更や配置検討	施設数	—	—	策定	未定	
	施設運営の見直しが行われた件数	件数	—	—	—	未定	